

◆優 秀 賞◆

大好きなチビ

城 島 小 学 校 六 年

金 原 美 琴

私の父には4人のお姉さんがいます。私にとってはおばさんです。その中の2番目のおばさんはねこを飼っています。今は黒に近いグレーの毛でおなかや片足真つ白なソラと雪のように真つ白なカイの2匹がいます。去年もおばさんの家で泊まらせてもらっていました。去年はまだカイはおらず、ソラより少し色のうすいグレーのチビがいました。チビはとても人なつっこくて、私達が家にあがらせてもらう時も逃げずにお出迎えしてくれていました。ソラとも、とても仲良しで、2匹がくっついてねている写真がよくおばさんからも届きました。もふもふでかわいい猫でした。

ある日、おばさんのお友達がカイを保護しました。おばさんの家はねこちゃんが3匹になりました。

ですが今年の春、チビはそつと息を引き取りました。私はチビが大好きでそんな話を聞いた時、悲しみと驚きでたくさん泣きました。おばさんも会った時は普通な態度をよそおってくれていたけれど実際泣きすぎで病院に行かないといけないほど目がはれてしまったそうです。

今年の夏も名古屋のおばさんの家に泊まらせてもらいました。いつもチビがお出迎えに来てくれていたので、チビの姿が見えずさみしくなりましたが、今年は人見知りで姿もあまり見せてくれなかったソラがお出迎えに来てくれました。中々姿を見せてくれないカイに“こうするんだよ”と教

える様に甘えてきてくれました。その姿を見て、チビの優しさはソラに受けつがれているんだなと嬉しくなり、少しチビに対するさみしさは少なくなりました。

私もチビが大好きなので、この作文を書いている時チビを思い出して泣いてしまいました。チビは私達より先に天国へ行ってしまいましたが、きっと天国でチビの先住猫のナリと一緒に私達を見守ってくれていると思います。

動物は人間とちがつて寿命が短く、15年程度だけだそうです。でも、その15年間でどう過ごすかがとても大切だなと思いました。